



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3387 URL <http://www.creatorestaurants.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晴彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川井 潤 (TEL) 03(5488)8001  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	33,537	40.7	2,597	13.3	2,760	18.8	988	△14.2
26年2月期第2四半期	23,832	27.1	2,293	31.3	2,323	27.4	1,152	33.5

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 925百万円(△33.7%) 26年2月期第2四半期 1,395百万円(62.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	31.42	—
26年2月期第2四半期	41.52	—

(注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	41,609	9,879	23.7
26年2月期	35,819	9,332	26.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 9,857百万円 26年2月期 9,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	30.00	—	36.00	66.00
27年2月期	—	34.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	11.34	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成27年2月期(予想)期末配当金については、平成26年9月1日付の普通株式1株につき3株の割合で株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	27.6	4,700	26.9	4,800	26.4	2,400	32.5	76.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社YUNARI、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	31,574,214株	26年2月期	31,574,214株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	111,015株	26年2月期	110,865株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	31,463,335株	26年2月期2Q	27,755,331株

(注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が終了しており、平成26年10月7日付で四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融政策や経済政策等の効果により、緩やかな景気回復への動きが見られたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順等により、先行き不透明な状況で推移してまいりました。

外食産業におきましても、懸念されていた消費税増税の影響は当初の見込みよりは限定的であったものの、人材不足や電気料金の値上げ、円安の進行に伴う原材料価格の高騰等、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、ブランド事業部体制によるブランド力の強化に注力し、品質、サービス等の店舗力向上に努めるとともに、新たに発足した人材育成チームを中心とした人材の育成強化並びに効率的な人員配置を踏み込んで実施してまいりました。また、当第2四半期連結累計期間より、株式会社YUNARIの23店舗が新たに連結の範囲に加わる一方で、優良案件に絞り込んだ出店や商況の変化に合わせた業態変更及び撤退等の迅速な判断を行い、グループ全体では42店舗の新規出店、19店舗の撤退を実施した結果、当第2四半期末における店舗数は559店舗となりました。また業務受託店舗等を含めた総店舗数は569店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は33,537百万円(前年同期比40.7%増)、営業利益は2,597百万円(前年同期比13.3%増)となり、経常利益2,760百万円(前年同期比18.8%増)、四半期純利益988百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,892百万円増加し、10,832百万円となりました。この主な要因は、売掛金が1,784百万円、現金及び預金が967百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,897百万円増加し、30,776百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が1,338百万円、子会社の新規連結等により、のれんが954百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ5,242百万円増加し、31,729百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が2,111百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ547百万円増加し、9,879百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が610百万円増加したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末から963百万円増加し、6,216百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は2,828百万円(前年同期比92.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,275百万円、減価償却費1,193百万円等を計上したことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は4,338百万円(前年同期比46.8%減)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出2,449百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,335百万円等があったことによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は2,513百万円(前年同期比61.3%減)となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,200百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1,990百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしまして、当社グループは、更なる競争力強化を目的とした『グループ連邦経営』を推進させ、グループ事業会社の育成、経営人材の育成、本社機能の強化等に取り組むことにより、グループ全体として更なる成長を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね順調に推移しており、平成27年2月期の通期の業績予想につきましては、平成26年7月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、平成26年4月30日付で株式会社YUNARIの全株式を取得し新たに子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,253,119	6,220,481
売掛金	1,660,981	3,445,367
原材料	234,492	218,603
前払費用	418,709	441,581
その他	373,118	506,784
流動資産合計	7,940,420	10,832,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,402,902	10,740,904
その他（純額）	2,599,857	2,830,003
有形固定資産合計	12,002,760	13,570,907
無形固定資産		
のれん	9,369,001	10,323,300
その他	57,631	58,507
無形固定資産合計	9,426,633	10,381,808
投資その他の資産		
差入保証金	4,935,039	5,360,480
その他	1,514,289	1,463,192
投資その他の資産合計	6,449,328	6,823,672
固定資産合計	27,878,721	30,776,389
資産合計	35,819,142	41,609,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,407,913	1,882,003
短期借入金	3,527,658	4,527,928
未払金	1,617,099	1,957,157
未払費用	1,305,605	1,713,269
未払法人税等	843,502	1,104,456
賞与引当金	136,546	272,934
株主優待引当金	93,041	38,586
店舗閉鎖損失引当金	12,997	48,113
資産除去債務	67,086	81,555
その他	583,863	905,497
流動負債合計	9,595,315	12,531,501
固定負債		
長期借入金	14,308,908	16,420,704
退職給付引当金	155,111	169,231
役員退職慰労引当金	22,734	27,834
資産除去債務	1,365,511	1,451,739
その他	1,039,559	1,128,756
固定負債合計	16,891,824	19,198,265
負債合計	26,487,140	31,729,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012,212	1,012,212
資本剰余金	4,576,030	4,576,030
利益剰余金	3,215,142	3,826,136
自己株式	△20,127	△20,323
株主資本合計	8,783,258	9,394,055
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	78	△162
為替換算調整勘定	548,663	463,283
その他の包括利益累計額合計	548,742	463,120
少数株主持分	—	22,263
純資産合計	9,332,001	9,879,440
負債純資産合計	35,819,142	41,609,207

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	23,832,642	33,537,171
売上原価	6,533,449	9,280,826
売上総利益	17,299,192	24,256,344
販売費及び一般管理費	15,005,692	21,658,742
営業利益	2,293,499	2,597,602
営業外収益		
受取補償金	—	100,000
協賛金収入	106,980	136,349
その他	36,930	53,170
営業外収益合計	143,910	289,519
営業外費用		
支払利息	78,318	105,869
その他	35,791	21,080
営業外費用合計	114,109	126,949
経常利益	2,323,301	2,760,172
特別損失		
減損損失	117,357	380,897
固定資産除却損	43,520	26,862
店舗閉鎖損失	2,480	29,444
店舗閉鎖損失引当金繰入額	9,346	47,091
その他	2,393	309
特別損失合計	175,098	484,606
税金等調整前四半期純利益	2,148,202	2,275,566
法人税等	995,880	1,264,749
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152,322	1,010,817
少数株主利益	—	22,263
四半期純利益	1,152,322	988,553

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152,322	1,010,817
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△330	△241
為替換算調整勘定	243,703	△85,380
その他の包括利益合計	243,373	△85,621
四半期包括利益	1,395,695	925,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,395,695	902,931
少数株主に係る四半期包括利益	—	22,263

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,148,202	2,275,566
減価償却費	801,050	1,193,185
のれん償却額	94,566	308,971
減損損失	117,357	380,897
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	7,243	35,660
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△54,455
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,756	136,387
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△840	14,120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,654	5,100
支払利息	78,318	105,869
固定資産除却損	43,520	26,862
売上債権の増減額(△は増加)	△1,225,251	△1,732,443
その他の資産の増減額(△は増加)	△72,552	△79,454
仕入債務の増減額(△は減少)	284,677	406,960
未払費用の増減額(△は減少)	560,322	643,814
その他の負債の増減額(△は減少)	△590,757	313,766
その他	7,494	16,483
小計	2,282,759	3,997,292
利息及び配当金の受取額	475	623
利息の支払額	△75,006	△105,141
法人税等の支払額	△967,516	△1,077,275
法人税等の還付額	231,442	12,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,472,154	2,828,469
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△768,580	△2,449,287
資産除去債務の履行による支出	△57,767	△96,967
差入保証金の差入による支出	△94,618	△444,260
差入保証金の回収による収入	35,080	70,326
関係会社株式の取得による支出	△1,406,665	△82,874
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,857,220	△1,335,239
その他	22	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,149,749	△4,338,500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△265,800
長期借入れによる収入	4,815,000	5,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,807,539	△1,990,007
リース債務の返済による支出	△29,192	△42,962
自己株式の売却による収入	4,149,351	—
自己株式の取得による支出	△94	△196
配当金の支払額	△431,338	△377,886
その他	—	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,496,187	2,513,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	104,965	△39,353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,443	963,762
現金及び現金同等物の期首残高	5,649,080	5,253,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,572,637	6,216,881

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。